

シェルリードワイヤー 取扱説明書

工具は先が細く、曲がったリードペンチ、せんまい通しをご用意下さい。どちらも、100円ショップで購入できますが、リードペンチは、2,000円程度の物が使いやすいです。また、先に加え部のギザギザのない平らなタイプが、チューブに傷が付かず、お奨めです。なお、ピンセットは不向きです。



色分けされている方がカートリッジ側です。取り付けの際、チップは、端子にまっすぐに差し込んでください。カートリッジ、ヘッドシエルのピンは製品により、微妙に違います。緩い場合は、リードペンチなどで調整して下さい。調整する（つぶす量）はチップの厚み分くらいです。また、きつい場合は、絶対に無理矢理押し込まないで下さい。

リードワイヤーとシェル、カートリッジの接続を間違えないようにして下さい。

カートリッジのピン

赤：右のホット

白：左のホット

緑：右のコールド（アース）

青：左のコールド（アース）

ヘッドシェルを外して、アームのヘッドシエルのピンを受ける接触端子を正面から見たとき

左上：左のホット

左下：左のコールド（アース）

右上：右のホット

右下：右のコールド（アース）

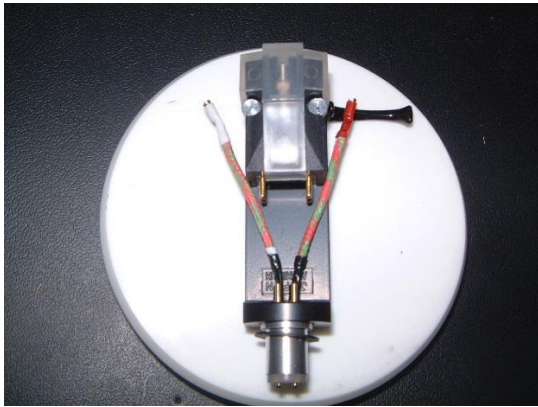
となります。

リードチップの破損、最悪の場合はカートリッジ内部の断線等の取り返しのつかない事故につながります。きつい場合、せんまい通し等で広げて下さい。簡単に調整できます。マイナスドライバーは不可です。それでもきつい場合、ケイグ等の接点復活材を極少量塗って頂きますとスムーズに入りやすくなります。

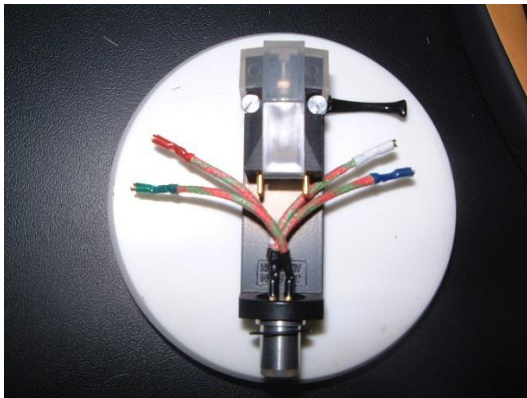
リードワイヤー接続後はゼロバランスは取り直して針圧を正規にかけてください。音量感が向上します。他のリード線と比較されるときは、ボリューム位置にご注意下さい。

エージングに少々時間がかかります。レコード5枚くらい聴いていただければ情報量が増え、ほぐれて、いい感じに鳴ります。また、接続のストレスが落ち着くことにも、一日くらいの時間が必要のようです。

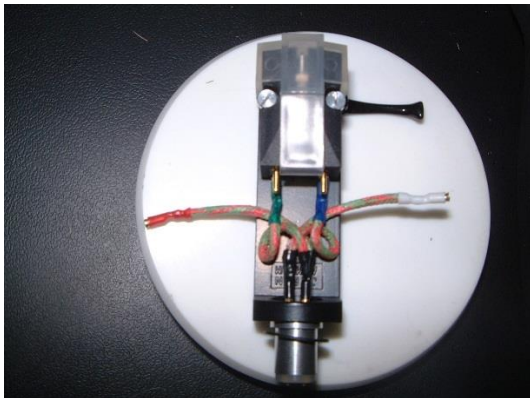
無事故第一で、お楽しみいただけることをお祈り申し上げます。



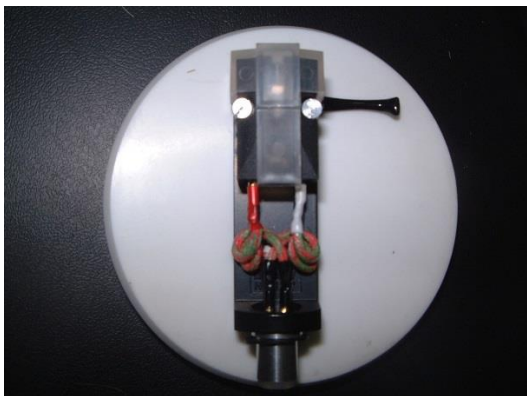
①リードワイヤーをシェル側のピンに接続する。色のついている方はカートリッジ側。



②リードワイヤーはカートリッジの左右に軽く曲げて逃す



③できるだけ、ワイヤーに負荷がかからないよう慎重に回転させながら、正しいピンの位置に接続する。



④完成